

感謝の気持ち

令和6年度の修了式。今の学年、今の学級で過ごす最後の日です。
今日は、今年1年を振り返る日にしてほしいなと思います。

3月1日の土曜日、私立の小学校が何校か集まって「クラブ親善試合」が行われました。東京女学館小学校からは、バレーボールクラブ、バトミントンクラブ、テニスクラブ、バスケットボールクラブ、卓球クラブが出場しました。

東京女学館小学校のそれぞれのチームは、とても良い成績をおさめていました。日頃の練習の成果が発揮されたのだと思います。

どのクラブの人たちも、試合に出ている人たちは一生懸命にプレーをして、「何とか勝利を勝ち取るのだ！」とがんばっていました。試合の当日に、日ごろの成果を存分に発揮するって意外に難しいことなのです。がんばって実力を出し切った人たちはすばらしいと思います。

そして、応援をしている人たちも必死でした。プレーをしている人たちに声をかける姿がありました。自分の学校のお友だちが応援をしてくれて、盛り上げてくれることは、試合に出場している人たちにとっては大きな心の支えになります。応援する姿も熱いものがありました。

試合に出場している人たちは練習の成果を発揮するためにがんばる、応援している人たちはそれを支える。心が一つになっている瞬間です。スポーツっていいなと改めて思いました。

さて、今日は、皆さんに通知表が配られます。今回も、全員の通知表を読みました。そこには、先生方の皆さんへの愛情がたっぷりこもった言葉が記されています。担任の先生だけではなく、専科の先生、学年担当の先生方の思いも込められています。よく読んでくださいね。

皆さんは試合に出てプレーをしている人、先生方やおうちの人たちはそれを応援している人。私はそのように思います。プレーをしている人、応援をしている人が一体になるといい試合ができるのかもしれませんが。

皆さんのことを応援してくださった、そして1年間見守ってくださった先生方に感謝の気持ちをもってください。今日、最後に教室から出ていくとき、その気持ちを伝えられるといいですね。

おうちに帰ったら、どうしますか。おうちの人たちは、この1年間、皆さんのことを大事に、大事に育ててくださいました。おうちに帰ったら、「1年間ありがとう」と感謝の言葉を伝えてください。